

主催：山口県立大学（国際文化学部 FD）
共催：一般社団法人やまぐち共創大学コンソーシアム

令和 5 年 2 月 1 日 水

地域活性化人材育成事業 ～SPARC～

「ひとや地域（まち・文化・教育）の
well-being に貢献する文系 DX 人材の育成」

時間 15:00-17:00

会場 北キャンパス 3 号館 5 階
ALS 教室

※ 使用言語：韓国語（日本語への同時通訳あり）

※ zoom によるオンライン同時配信あり

対面でもオンラインでも参加可

（要申し込み・参加無料）

現場密着型地域人材育成 産学研連携教育課程 イノベーション

山口大学、山口県立大学、山口学芸大学が連携して行う SPARC 事業では、人間中心の視点から DX を実践し、ひとや地域の課題解決ために貢献できる文系 DX 人材を育成します。予測不可能な時代に必要な汎用的能力としての地域の課題発見、情報革命時代に DX を活用した課題解決の能力を育むことを目的とする PBL (problem-based learning) という学びは、他大学ではどのように運営されているのでしょうか。海外の先進的な PBL の実践を共有し、PBL で育むべき資質・能力の議論を深めるとともに、授業運営のあり方や活動評価について情報交換を行います。

課題解決力を育てる慶南大学校イルモリ教育特性化課程



姜 在寛 (カン・ジェグアン) 慶南大学校産学副総長

産業工学（生産工学専攻）博士（浦項工科大学）

慶南大学校 機械工学部 教授（1985.09～現）、慶南大学校 産学副総長（2019.03～現）、慶南大学校 研究室長（産学協力団長、2017.02～現）、慶南大学校 UOK LINC+ 事業団長（2017.03～2020.02）、慶南大学校 就職支援室長（2011.03～2013.02）、財団法人 昌原産業振興院 理事（2020.05～現）、昌原経済革新委員会 共同委員長（2018.11～現）、韓国防衛産業学会 南部支部長（2012.12～現）、慶南大学校 現場特化高級人材養成センター所長（2012.08～現）、慶南大学校 国防産業地域革新センター長（2011.03～現）

イルモリ PBL 教授法の理解と運営過程



鄭 恩姫 (チョン・ウンヒ) 慶南大学校 LINC3.0 事業団イルモリ教育本部長

教育学（生涯教育専攻）博士（慶南大学校）

慶南大学校 教育大学院教育学科 教授（2012.03～現）、慶南大学校 LINC3.0 事業団イルモリ教育 本部長（2022.03～現）、慶南大学校 イルモリ教育メンター 教授（2022 年現）、慶南大学校 生涯学習研究センター 副センター長（2009.03～現）韓国生涯教育学会理事、韓国生涯教育総連合会理事、行政安全部地域社会革新政策協議会委員（2021.03～現）慶南大学校 優秀教授賞（2004、2005、2011）副総理兼教育部長官表彰：2 回（2007 年、2019 年）大統領直属機関国家均衡発展委員会 地域革新家受賞（2019）

イルモリ PBL 科目の運営事例



李 眞姫 (イ・ジンヒ) 慶南大学校イルモリ教育メンター教授

教育学（教育課程および授業専攻）博士（慶南大学校）

慶南大学校 教育学科 教授（2012.03～現）、慶南大学校 教授学習支援センター 教授 支援部長（2012.03～2015.02）、慶南大学校 イルモリ教育メンター 教授（2022 年現）、大韓民国海軍教育司令部諮問教授および教官研修教育（2017.05～現）、昌原市持続可能発展協議会教育分科委員（2021.01～現）、昌原市環境教育委員会委員（2022.01～現）、慶南村企業（村共同体支援団）コンサルタント（2020.06.～現）、慶南大学校 優秀教授賞（2003、2006、2010、2020）

※イルモリとは、直訳で「仕事ができる頭」との意味。イルモリ PBL は、学習者に産業界、自治体、機関などの実際的な学習者同士共同で課題解決策を講じ、個別学習と協同学習を通じて共通の解決策を準備する一連の過程で学習が行われるようにする学習方法「産学研連携」のことをさす。

お問い合わせ

山口県立大学 国際文化学部長 西田光一
knishida@yamaguchi-pu.ac.jp

参加
申込み先

SPARC 推進室 担当：林
https://forms.gle/LHurKJ2Z

申込み〆切
1月27日(金)

